

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

岡山県 津山市

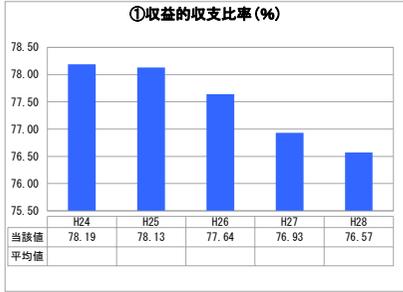
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	1.59	89.84	3,387

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
102,962	506.33	203.35
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,630	0.52	3,134.62

**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成28年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



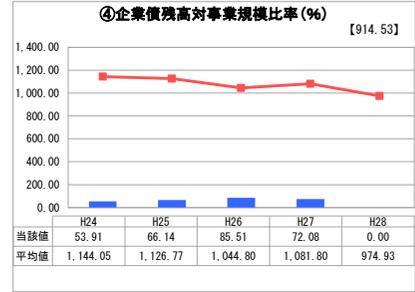
「単年度の収支」



「累積欠損」



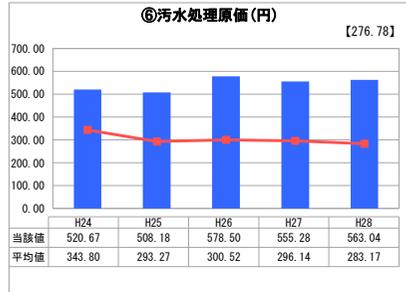
「支払能力」



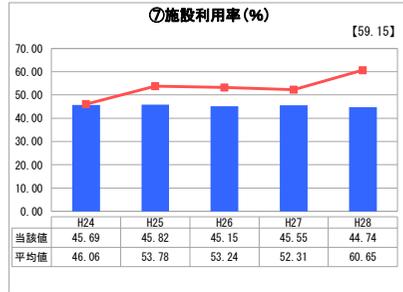
「債務残高」



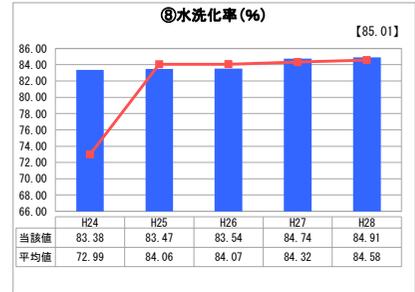
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

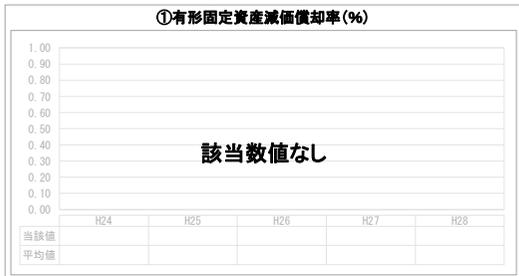


「施設の効率性」

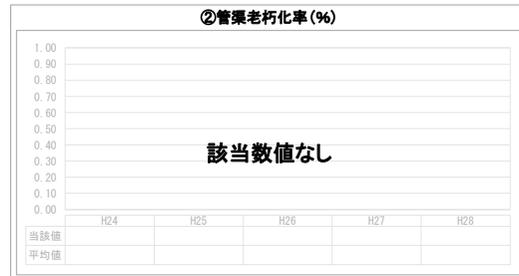


「使用料対象の捕捉」

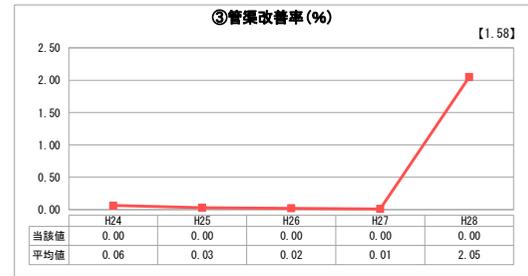
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

水洗化率は、類似団体とほぼ同等であるが、経費回収率及び汚水処理原価が悪い数値となっている。経営を改善するためには、水洗化率をさらに向上させる必要がある。収益的収支比率については、地方債償還に資本費平準化債借入金を充てていることで、100%には至らず、低水準となっている。特定環境保全公共下水道との統合を検討し、効率的な汚水処理方式を目指す。

### 2. 老朽化の状況について

平成27年度から機能強化診断及び更新計画策定を行ってきているが、平成30年度は継続性のある事業計画を策定予定。

### 全体総括

平成30年度から公共下水道及び特定環境保全公共下水道と共に企業会計移行に移行するが、損益取引と資本取引に分離した経理を行うことで、経営状況や財政状況をより明確にし、経営の効率化や健全化を図る。整備事業は既に終了しているが、今後は事業の継続性を主眼とする最適化構想の策定を行う予定である。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。